



2026年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月14日

上場会社名 株式会社クロス・マーケティンググループ 上場取引所 東
コード番号 3675 URL <https://www.cm-group.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 五十嵐 幹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小野塚 浩二 (TEL) 03(6859)2259
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年6月期第1四半期の連結業績(2025年7月1日～2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期第1四半期	6,708	△0.8	286	△19.5	290	△1.9	122	△14.2
2025年6月期第1四半期	6,762	20.1	356	—	295	—	142	—

(注) 包括利益 2026年6月期第1四半期 156百万円(539.7%) 2025年6月期第1四半期 24百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期第1四半期	6.29	—
2025年6月期第1四半期	7.41	7.36

(注) 2026年6月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期第1四半期	16,057	8,118	50.5
2025年6月期	16,421	7,987	48.6

(参考) 自己資本 2026年6月期第1四半期 8,114百万円 2025年6月期 7,983百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2026年6月期	—	—	—	—	—
2026年6月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年6月期の連結業績予想(2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	32,000	10.7	2,800	11.0	2,700	12.5	1,550	81.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) — 、除外 — 社 (社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年6月期1Q	19,970,464株	2025年6月期	19,970,464株
② 期末自己株式数	2026年6月期1Q	567,201株	2025年6月期	718,401株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年6月期1Q	19,367,107株	2025年6月期1Q	19,176,494株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
3. その他	12
継続企業の前提に関する重要事象等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、雇用・所得環境が改善するなか、内需拡大・インバウンド消費増加などにより、緩やかな回復が進みました。一方で、米国通商政策の世界経済への影響をはじめ、中国経済の成長鈍化、物価高による個人消費拡大への懸念等が、国内外で多様な業種に広がる当社顧客の収益環境に影を落とすなど、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

当社グループの事業領域であるデジタルマーケティング市場及びマーケティングリサーチ市場は、顧客企業によるDX（デジタルトランスフォーメーション）への旺盛な投資を背景に堅調となっており、今後も中期的な成長が予想されます。その中で消費者の購買行動は多様化が加速しており、これに対応した消費者ニーズ調査手法の革新やプロモーション手段の進化が求められるなど、競争環境の激化が想定されます。

こうした経営環境のなか、当社グループは、中期経営方針におけるテーマ「U n i t e & G e n e r a t e」に基づき、グループシナジーを積極的に推進し、新たな付加価値を創出すると同時に、グループ各社の経営品質を向上させる取り組みを推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は6,708百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は286百万円（同19.5%減）、経常利益は290百万円（同1.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は122百万円（同14.2%減）となりました。

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)	増減額 (増減率)
売上高	6,762	6,708	△53 (△0.8%)
営業利益	356	286	△69 (△19.5%)
経常利益	295	290	△6 (△1.9%)
親会社株主に帰属する四 半期純利益	142	122	△20 (△14.2%)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、当連結会計年度より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、経営成績の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

(デジタルマーケティング事業)

デジタルマーケティング事業では、国内のグループ各社がデジタル領域に軸足を置き、インフルエンサーマーケティング支援や販促支援メディア運営等の「ソーシャル&デジタルプロモーション」、システムの受託開発及び保守・運用、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関わる総合的コンサルティング等の「SI・DXコンサルティング」、デジタル領域における人材派遣やBPOサービス等の「マーケティングHR」を提供しております。

同事業の外部顧客に対する売上高は3,247百万円（前年同期比5.4%増）となりました。その内訳として、1）「ソーシャル&デジタルプロモーション」売上高はインフルエンサーマーケティングやIPプロモーション分野が大きく伸びた一方で3PL（サードパーティロジスティクス）分野の減収により前年同期比横ばいの1,996百万円にとどまり、2）「SI・DXコンサルティング」売上高は株式会社C o u mの新規連結効果があつたものの既存システム開発分野の減収により前年同期比3.4%減の544百万円、3）「マーケティングHR」売上高はデジタル領域の人材支援・BPOサービスが好調で前年同期比35.3%増の708百万円となったことによるものです。

同事業のセグメント利益（営業利益）は203百万円（前年同期比4.5%減）となりました。これは、売上総利益の減少が主な要因であります。

(リサーチ・インサイト事業)

リサーチ・インサイト事業では、国内外のグループ各社において、オンライン・オフライン双方でのマーケティングデータ収集、複合的な分析、消費者インサイトの発掘、レポート作成等を通じ、お客様企業のマーケティング

ング戦略における意思決定への支援を行っております。

同事業の外部顧客に対する売上高は3,461百万円（前年同期比6.0%減）となりました。その内訳は、1）「国内」売上高は、不透明な経済情勢の中でもお客様企業のリサーチ需要は底堅く、主力のオンラインリサーチの好調などにより前年同期比1.6%増の2,480百万円と増収を確保した一方、2）「海外」売上高は、主力の米国が小幅増収となったものの、英国、インド、インドネシアが苦戦したこと等により前年同期比20.8%減の981百万円となったことによるものです。

同事業のセグメント利益（営業利益）は624百万円（同10.5%減）となりました。これは主に、売上高の減少によるものです。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、資産については、流動資産が12,460百万円（前連結会計年度末比410百万円減）となりました。主な項目としては、現金及び預金7,090百万円、受取手形、売掛金及び契約資産3,482百万円となっております。固定資産は3,597百万円（同46百万円増）となりました。主な項目としては、のれん1,103百万円、ソフトウェア450百万円、投資その他の資産のその他に含まれる敷金707百万円となっております。その結果、総資産は16,057百万円（同364百万円減）となりました。

（負債）

負債については、流動負債が5,230百万円（前連結会計年度末比187百万円減）となりました。主な項目としては、買掛金1,366百万円、1年内返済予定の長期借入金1,087百万円、短期借入金450百万円となっております。固定負債は2,709百万円（同308百万円減）となりました。主な項目としては、長期借入金2,402百万円となっております。その結果、負債は7,939百万円（同495百万円減）となりました。

（純資産）

純資産は8,118百万円（前連結会計年度末比131百万円増）となりました。主な項目としては利益剰余金が7,359百万円となっております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年6月期の業績予想につきましては、2025年8月12日に公表しました連結業績予想から変更はなく、売上高320億円（前期比10.7%増）、営業利益28億円（同11.0%増）、経常利益27億円（同12.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益15.5億円（同14.3%増）としております。

当社の業績予想は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき、季節要因等を反映して作成しております。今後、業績予想に修正が見込まれる場合には、適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,634,108	7,089,981
受取手形、売掛金及び契約資産	3,754,593	3,482,485
仕掛品	584,349	853,176
その他	922,299	1,060,079
貸倒引当金	△25,202	△25,462
流動資産合計	12,870,147	12,460,259
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	144,215	147,370
工具、器具及び備品（純額）	59,639	60,782
その他（純額）	4,343	6,889
有形固定資産合計	208,198	215,041
無形固定資産		
ソフトウェア	487,583	449,798
のれん	1,175,729	1,102,757
その他	63,206	79,745
無形固定資産合計	1,726,518	1,632,300
投資その他の資産		
投資有価証券	370,854	427,391
関係会社株式	120,045	123,121
繰延税金資産	321,971	324,341
その他	803,484	874,467
投資その他の資産合計	1,616,355	1,749,320
固定資産合計	3,551,071	3,596,660
資産合計	16,421,218	16,056,920

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,228,457	1,366,304
短期借入金	485,793	449,971
1年内返済予定の長期借入金	1,097,054	1,087,054
未払法人税等	495,075	211,261
賞与引当金	447,935	289,591
その他	1,662,833	1,825,786
流動負債合計	5,417,147	5,229,967
固定負債		
長期借入金	2,666,348	2,402,084
役員退職慰労引当金	96,926	96,926
資産除去債務	107,482	107,765
その他	146,409	102,550
固定負債合計	3,017,164	2,709,324
負債合計	8,434,311	7,939,291
純資産の部		
株主資本		
資本金	646,709	646,709
資本剰余金	468,362	482,481
利益剰余金	7,371,945	7,359,003
自己株式	△454,474	△358,822
株主資本合計	8,032,542	8,129,371
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,710	30,473
為替換算調整勘定	△78,838	△45,605
その他の包括利益累計額合計	△49,128	△15,132
非支配株主持分	3,492	3,389
純資産合計	7,986,906	8,117,628
負債純資産合計	16,421,218	16,056,920

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
売上高	6,761,590	6,708,188
売上原価	4,238,195	4,237,216
売上総利益	2,523,396	2,470,972
販売費及び一般管理費	2,167,679	2,184,511
営業利益	355,717	286,461
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,598	4,514
持分法による投資利益	2,811	3,075
為替差益	—	13,326
その他	2,380	6,914
営業外収益合計	6,790	27,830
営業外費用		
支払利息	15,966	20,450
為替差損	50,590	—
その他	508	3,980
営業外費用合計	67,063	24,430
経常利益	295,443	289,860
税金等調整前四半期純利益	295,443	289,860
法人税等	153,070	168,278
四半期純利益	142,373	121,582
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	354	△240
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,019	121,822

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	142,373	121,582
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,768	764
為替換算調整勘定	△122,803	33,352
その他の包括利益合計	△118,035	34,116
四半期包括利益	24,338	155,699
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,984	155,818
非支配株主に係る四半期包括利益	354	△120

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	リサーチ・インサイト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,081,688	3,679,902	6,761,590	—	6,761,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	186,017	206,582	392,599	△392,599	—
計	3,267,705	3,886,484	7,154,189	△392,599	6,761,590
セグメント利益	212,212	697,033	909,245	△553,529	355,717

(注) 1 セグメント利益の調整額△553,529千円は、セグメント間取引消去717千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△554,245千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		
	デジタルマーケティング事業	リサーチ・インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	3,043,674	3,679,902	6,723,576
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	38,014	—	38,014
顧客との契約から生じる収益	3,081,688	3,679,902	6,761,590
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,081,688	3,679,902	6,761,590

当第1四半期連結累計期間(自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	デジタルマーケティング事業	リサーチ・インサイト事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,247,417	3,460,771	6,708,188	—	6,708,188
セグメント間の内部売上高又は振替高	193,984	149,708	343,691	△343,691	—
計	3,441,400	3,610,479	7,051,879	△343,691	6,708,188
セグメント利益	202,616	623,589	826,205	△539,744	286,461

(注) 1 セグメント利益の調整額△539,744千円は、セグメント間取引消去1,121千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△540,865千円が含まれております。全社費用等は、報告セグメントに帰属しない全社共通費用等であり、その主なものは管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	デジタルマーケティング事業	リサーチ・インサイト事業	合計
一時点で移転される財又はサービス	3,194,944	3,460,771	6,655,715
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	52,473	—	52,473
顧客との契約から生じる収益	3,247,417	3,460,771	6,708,188
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,247,417	3,460,771	6,708,188

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、「デジタルマーケティング事業」、「データマーケティング事業」及び「インサイト事業」の3つを報告セグメントとしておりましたが、当連結会計年度より「デジタルマーケティング事業」及び「リサーチ・インサイト事業」の2区分に変更しております。

従来型の単なるリサーチ業務にとどまらず、消費者のインサイト発掘やデータの分析など、顧客企業の課題解決に向けた新たな付加価値の提供が求められており、よりコンサルティング・インサイト領域の深化及び拡大を進めるとともに、デジタルマーケティング事業とのより積極的なシナジーを創出することで、新たな付加価値の提供を実現することを目的として、従来の「データマーケティング事業」及び「インサイト事業」を統合して「リサーチ・インサイト事業」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年7月1日 至 2024年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年7月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	111,601千円	70,438千円
のれんの償却額	64,319千円	72,972千円

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。